

授業概要

古代から現代に至るさまざまな哲学者において、「創造」と（言わば「理性」の裏面である）「狂気」がいかなる関係を結んでいるのかという問題を中心として、哲学史の入門的講義を行います。

また、心理学や精神医学といった隣接する学問領域との区別を通じて、哲学とはどのような学問なのか、現代における哲学の意義はどこにあるのかを考えます。

授業計画

第 1 回	イントロダクション：哲学の歴史を学ぶ意義
第 2 回	プラトン
第 3 回	アリストテレス
第 4 回	中世キリスト教
第 5 回	デカルト①
第 6 回	デカルト②
第 7 回	カント①
第 8 回	カント②
第 9 回	ヘーゲル
第 10 回	ヘルダーリン
第 11 回	ハイデガー
第 12 回	ラカン
第 13 回	フーコー
第 14 回	ドゥルーズ
第 15 回	これまでのまとめ
第 16 回	筆記試験（教場レポート形式）

到達目標

- 哲学史の基本的知識を身に付け、哲学とはどのような学問なのかを理解する。
- 論理的な文章を書くことができる。

履修上の注意

- 初心者から上級者まで広く受講できる授業です。高校倫理を履修していたかどうかは全く関係ありません。
- 授業内容についての質問は、基本的に、毎回授業前後に受け付けます。積極的な質問を歓迎します。
- 各回の内容は、進捗や理解度に応じて変更する可能性があります。

予習・復習

- 毎回の復習は必須です。復習の仕方については、授業でガイダンスします。
- 予習は必須ではありませんが、関心や余力のある人は、教科書の該当項目を予め読んでもらって構いません。

評価方法

- 平常点（出席点およびリアクションペーパーの内容の評価）50%
- 筆記試験（教場レポート形式、その場で提示された課題について論じる。）50%

テキスト

- 教科書名：創造と狂気の歴史 プラトンからドゥルーズまで（講談社選書メチエ）
- 著者名：松本 卓也 著
- 出版社名、出版年：講談社、2019年
- ISBN：978-4065150115